

さあ総選挙勝利へ 広島県後援会総会 開く 「比例を軸に」を貫いて 小松崎選対局次長が講演



日本共産党広島県後援会は2月8日、広島市内で後援会総会を開催、会場いっぱいの参加者で熱気溢れる総会となりました。(写真)。

総会では、中央選対局次長の小松崎久仁夫氏が「『市民と野党の共闘』時代における選挙の取り組み・後援会に期待するもの」と題して講演し、「第28回党大会は、共闘勝利と党躍進の『二大目標』達成のためには後援会

の活動を広げ、有権者との日常的な結びつきを強めていくことにかかっている」と強調しました。

総会では、大平喜信前衆議院議員が挨拶、参加者からは「大平議席の奪還」への決意が語られました。

大平さん 県民要求実現へ 東奔西走



大平喜信前衆議院議員は、中国5県各地の要求と運動に応じて、精力的に調査・懇談・申し入れ活動を行っています。

2月5日には、広島市の被爆建造物・被服支廠の保存を求めて、広島市議団とともに財務局交渉

(写真左上)、そして同日夕方には、福山市議団とともにJR岡山支社に行き、駅の無人化撤回、バリアフリー化を求めました。

(写真右上)

さらに6日は、北広島町芸北町へ美濃孝二北広島町議、党北広島支部の皆さんとともに雪不足による被害調査(写真右)。各地で「頼りになる大平さん、ぜひ国会へ」の期待が高まっています。

ます。

小松泰信名誉教授 各地で笑いと涙の「入党宣言」

「入党宣言」が大きな話題を呼んでいる小松泰信岡山大学名誉教授は、中国地方各地で「講演」「対談」に飛び回っています。

2月9日には、山口市内で「食の安全と農業の展望」と題して講演(写真)、その後「日本共産党を語るつどい」で「自らの入党宣言」を披露しました。

どの会場も参加者がいっぱい、笑いあり涙ありの小松さんの話に勇気と確信がみなぎるものとなっています。

